柏の葉スマートシティコンソーシアム
【地方公共団体：柏市　民間事業者等代表：三井不動産株式会社】

○ 大学、病院等の施設が駅から2km圏に分散立地しており、区画整理事業の進行に伴う土地利用の更なる促進に向け、施設間のつながり強化、新産業の集積促進、環境負荷の低減、将来も健康に暮らせる居住環境形成が課題。
○ 「エネルギー」、「モビリティ」、「パブリックスペース」、「ウェルネス」をキーワードに、データプラットフォームと公・民・学連携のまちづくり体制とを活かし、高密複合空間における環境負荷を抑えたスマートなコンパクトシティライフの具現化を図る。

◆対象区域

つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅を中心とする半径2km圏

◆事業実施体制

柏の葉スマートシティコンソーシアム

幹事機関・事務局：ＵＤＣＫ／三井不動産㈱／柏市

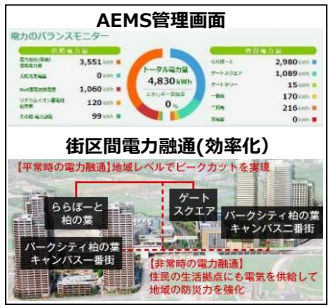
データプラットフォーム構築・運営　協力機関
民間型：　㈱日立製作所／日本ユニシス㈱／凸版印刷㈱
公共型：　柏市／日本電気㈱

モデル事業分野別実施体制
エネルギー：㈱日立製作所／三井不動産㈱
モビリティ：柏ＩＴＳ推進協議会／東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構／パシフィックコンサルタンツ㈱／首都圏新都市鉄道㈱／㈱長大／㈱アイ・トランス・ポートラボ
パブリックスペース：(一社)UDCKタウンマネジメント／産業技術総合研究所／㈱富士通交通・道路データサービス／川崎地質㈱／㈱奥村組
ウェルネス：柏市／国立がん研究センター東病院／三井不動産㈱／産業技術総合研究所

先端ソリューションを持つベンチャー企業（新規参入含む）

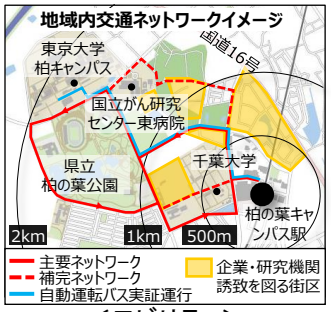
◆新技術・データを活用した都市・地域の課題解決の取組

AEMSの進化
- 域内施設のエネルギー関連データプラットフォーム構築
- データ活用予測による電力融通効率化



＜エネルギー＞

拠点施設間のアクセス
- 自動運転による事業用自動車（緑ナンバー）の実証運行
- 駅周辺交通の可視化・モニタリング

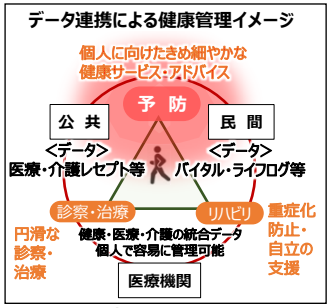


＜モビリティ＞

公共空間の整備・管理
- 人流解析・環境センシングに基づく開発計画、空間デザイン
- AI解析による道路等の予防保全型維持管理

＜パブリックスペース＞

健康支援
- 健康拠点でのデータ収集、健康サービス提供
- 医療機関における人流データを活用した患者の待ち時間軽減



＜ウェルネス＞

データプラットフォーム
- 情報銀行等の仕組みを活用した分散型データベースを構築（民間型プラットフォーム）
- FIWARE等を活用したオープンデータ化の促進（公共型プラットフォーム）
- 二つのプラットフォームの連携、分野を横断するデータ利活用等により新たなサービスを創出

民間型プラットフォーム
個人情報に配慮、情報銀行等の仕組み活用検討
- 情報提供者が開示相手や対象情報範囲を選択でき、個人情報が守られる仕組み。
- 既存DBを連携できる、安価でセキュアな分散型ＤＢ。
- 安全な情報取引とﾏﾈﾀｲｽﾞを試行しサステナブルなPFを検討。

連携

公共型プラットフォーム
オープンソースの都市OSのFIWARE等活用検討
- 個人情報を含まない、もしくは匿名加工情報ＤＢ。
- データ開示により、市民の利便性向上・街づくりの進化に寄与。
- 国際基準（Creative Commons)に沿った知的財産権の一部供用化（オープン化）

◆2019年度の主な取組

- 柏の葉キャンパス駅～東大柏キャンパス間のシャトルバス（事業用自動車）の一部で自動運転を導入
- 小型路面下探査装置の開発及びAI解析の実証実験